

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第6週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (6週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。

3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。

5類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、播種性クリプトコックス症1例、百日咳14例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類 結核		宮崎市	60歳代	男	肺結核	咳、痰
		日向	90歳代	男	肺結核	痰、発熱
5類 劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		宮崎市	70歳代	男	—	ショック、肝不全、腎不全
		延岡	80歳代	男	—	発熱、意識障害、呼吸器症状

	疾患名	報告保健所	報告数	年齢群				症状
				0~4歳	5~9歳	10歳代	30歳代	
5類 百日咳	百日咳	宮崎市	4例			3	1	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、スタッカート、ウーブ、嘔吐
		都城	3例			3		
		延岡	3例		1	2		
		高鍋	3例			3		
		中央	1例	1				

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は977人(定点当たり23.3)で、前週比84%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

報告数は210人(3.6)で、前週比60%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(38.1)の約0.1倍であった。延岡(6.9)、宮崎市(5.1)、日南(5.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約8割を占めた。

【新型コロナウイルス感染症】

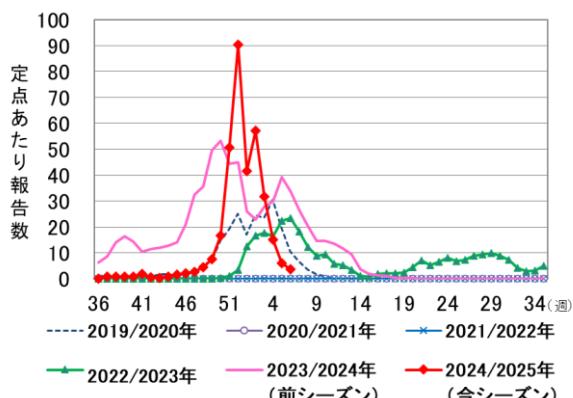
報告数は273人(4.7)で、前週比82%と減少した。高千穂(16.0)、延岡(6.7)、都城(6.4)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約4割、60歳以上が全体の約3割を占めた。

【感染性胃腸炎】

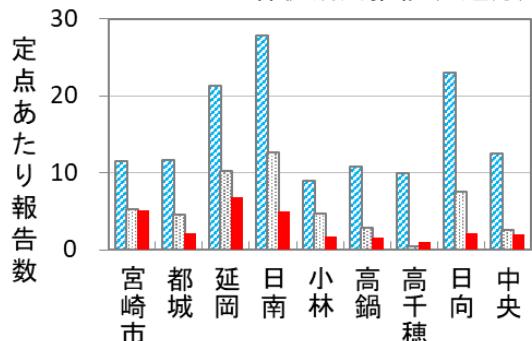
報告数は295人(8.2)で、前週比84%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(9.9)の約0.8倍であった。小林(22.0)、中央(10.0)、都城(9.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から4歳が全体の約4割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015~2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

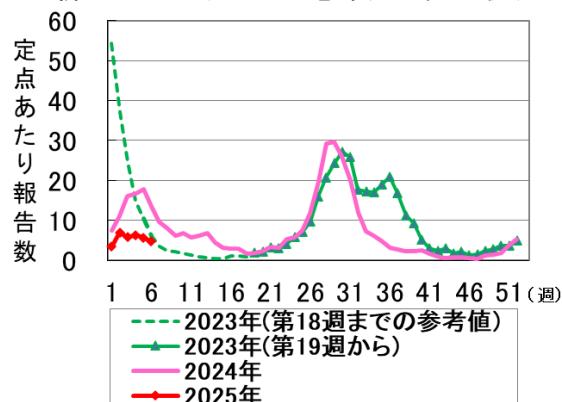
インフルエンザ 発生状況



インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



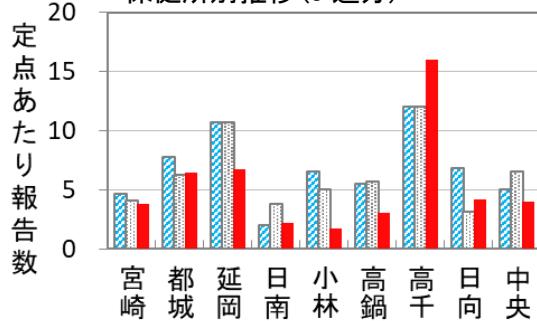
新型コロナウイルス感染症 発生状況



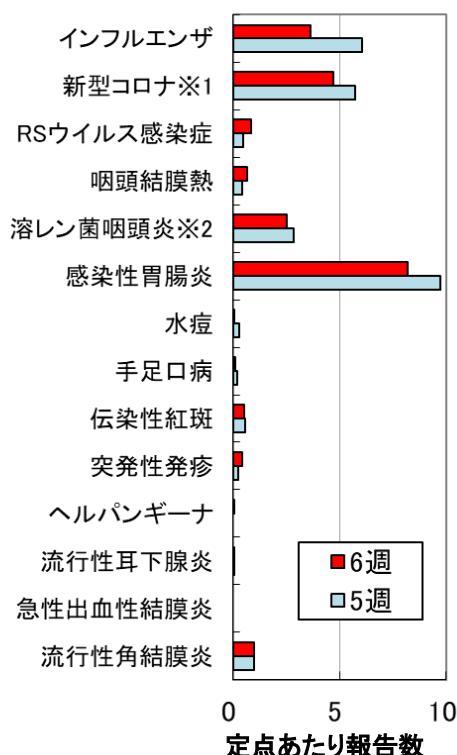
※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

新型コロナウイルス感染症

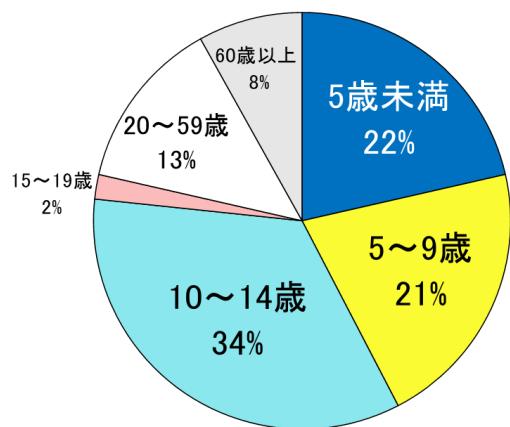
保健所別推移(3週分)



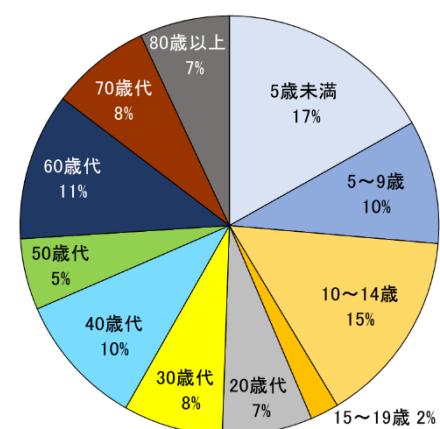
《前週との比較》

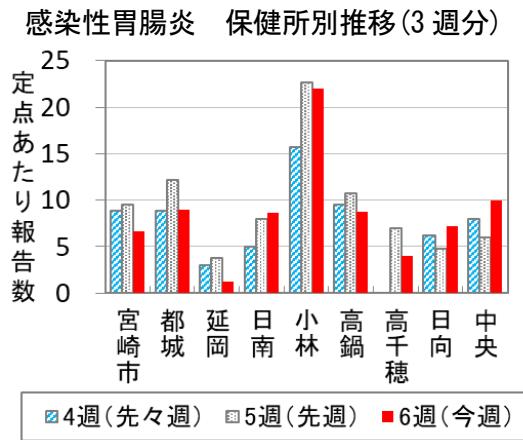
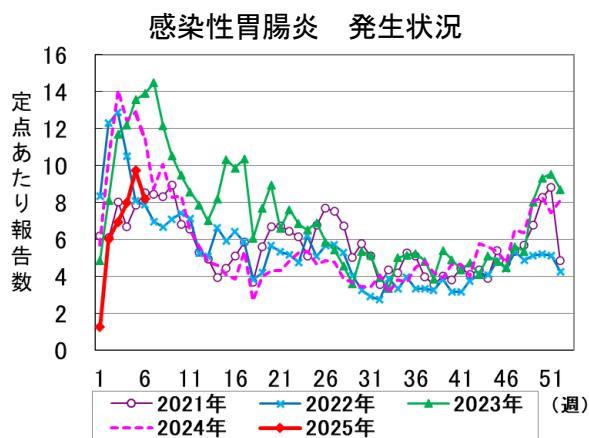


インフルエンザ年齢群別グラフ(第6週)



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ(第6週)





★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は4例(定点当たり0.6)で、前週比4倍と増加した。高鍋(2例)、宮崎市(1例)、日向(1例)保健所から報告があった。年齢は5~9歳が3例、0~4歳が1例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	水痘(1.0)
小林	感染性胃腸炎(22.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

流行警報レベル開始基準値

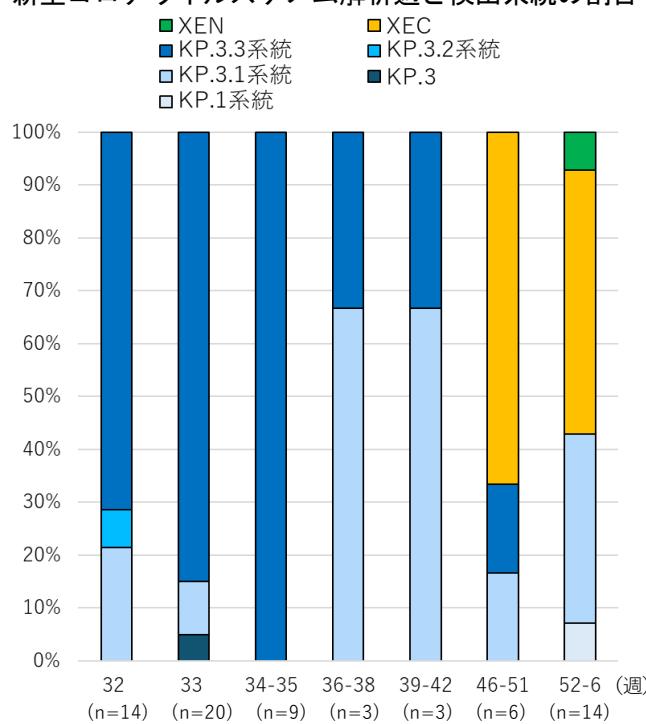
- ・感染性胃腸炎(20)

流行注意報レベル基準値

- ・水痘(1)

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統の割合



○第52-6週はXEC系統が50%、KP.3.1系統が約36%を占めている。

※XECはKS.1.1とKP.3.3の組換え株で、現在、日本、欧米で流行している。また、XENはKP.1.1.6とJN1.11.1の組換え株である。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスのPCR陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

+ 全国 2025 年第 5 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核		258 例			
3類感染症	細菌性赤痢		1 例	腸管出血性大腸菌感染症	22 例	
4類感染症	E型肝炎	7 例	A型肝炎	3 例	チクングニア熱	1 例
	つつが虫病	5 例	デング熱	5 例	レジオネラ症	21 例
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	29 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	7 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	28 例	後天性免疫不全症候群	12 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	53 例	水痘(入院例)	5 例
	梅毒	191 例	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	1 例
	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	246 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 86%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は R S ウィルス感染症、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

インフルエンザの報告数は 28,943 人(5.9)で前週比 53%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(38.0)の約 0.2 倍であった。山形県(16.0)、新潟県(14.9)、沖縄県(13.3)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

新型コロナウィルス感染症の報告数は 29,869 人(6.1)で前週比 100%と横ばいであった。長野県(8.6)、宮城県(8.4)、福島県(8.2)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 4 割、60 歳以上が全体の約 2 割を占めた。

マイコプラズマ肺炎の報告数は 296 人(0.6)で前週比 98%とほぼ横ばいであった。福井県(2.8)、青森県(2.0)、岐阜県(1.6)からの報告が多く、本県の定点当たり報告数は 0.1 であった。全国の年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

* 新型コロナウィルス感染症流行前 5 年間(2015–2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2025年 第06週(02月03日～02月09日)

疾病名	第05週	第06週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	352	210	81	21	48	25	7	9	2	13
	定点当り	6.07	3.62	5.06	2.10	6.86	5.00	1.75	1.50	1.00	2.17
新型コロナ ウイルス感染症	報告数	332	273	61	64	47	11	7	18	32	25
	定点当り	5.72	4.71	3.81	6.40	6.71	2.20	1.75	3.00	16.00	4.17
RSウイルス 感染症	報告数	17	30	7	8	2		4	6		1
	定点当り	0.47	0.83	0.70	1.33	0.50	0.00	1.33	1.50	0.00	0.25
咽頭結膜熱	報告数	16	24	19	1		1		1		1
	定点当り	0.44	0.67	1.90	0.17	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.25
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	報告数	102	91	40	13	9	11	3	3	2	4
	定点当り	2.83	2.53	4.00	2.17	2.25	3.67	1.00	0.75	2.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	350	295	66	54	5	26	66	35	4	29
	定点当り	9.72	8.19	6.60	9.00	1.25	8.67	22.00	8.75	4.00	7.25
水 痘	報告数	10	3			3					
	定点当り	0.28	0.08	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	8	4	4							
	定点当り	0.22	0.11	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	21	19	12	2	5					
	定点当り	0.58	0.53	1.20	0.33	1.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	9	15	9		2	1	1	2		
	定点当り	0.25	0.42	0.90	0.00	0.50	0.33	0.33	0.50	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数		2	1	1						
	定点当り	0.00	0.06	0.10	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	1			1					
	定点当り	0.06	0.03	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性 結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	6	6	3	3						
	定点当り	1.00	1.00	1.00	1.50	0.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数	1	4	1			2			1	
	定点当り	0.14	0.57	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00		1.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

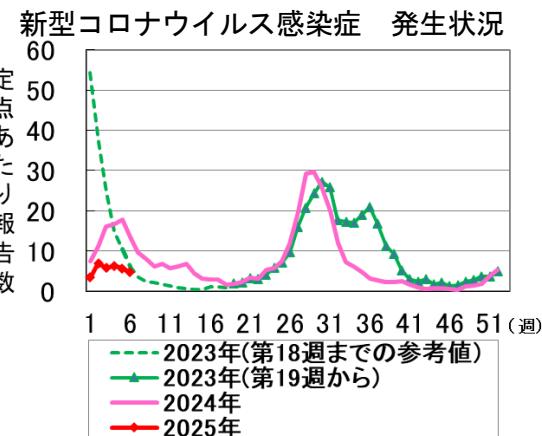
●全数把握対象疾患累積報告数(2025年 第1週～6週 保健所受理分)

2類感染症	結核	10例(2)		
4類感染症	E型肝炎	1例	つつが虫病	4例
5類感染症	急性脳炎	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例(1)
	侵襲性肺炎球菌感染症	4例	梅毒	7例
	破傷風	1例	百日咳	50例(14)

新型コロナウイルス感染症情報《県内第6週、全国第5週(再掲)》

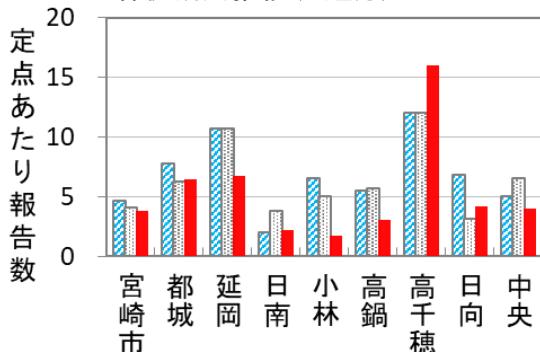
□ 県内第6週 新型コロナウイルス感染症発生動向

2月3日～2月9日までの1週間で273人(4.7)の報告があり、前週比82%と減少した。高千穂(16.0)、延岡(6.7)、都城(6.4)保健所管内からの報告が多かった。



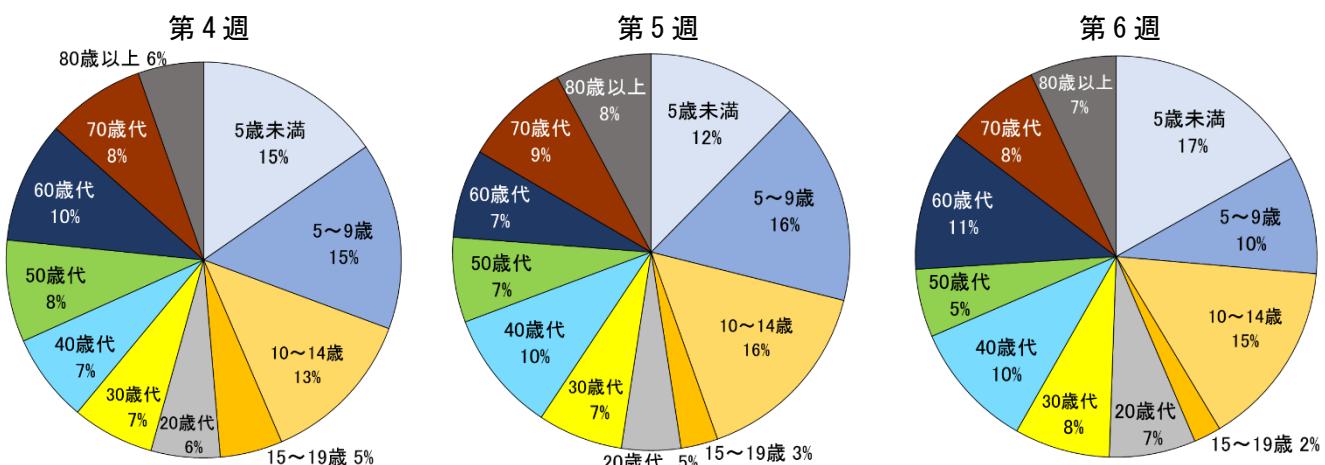
※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータ
は、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

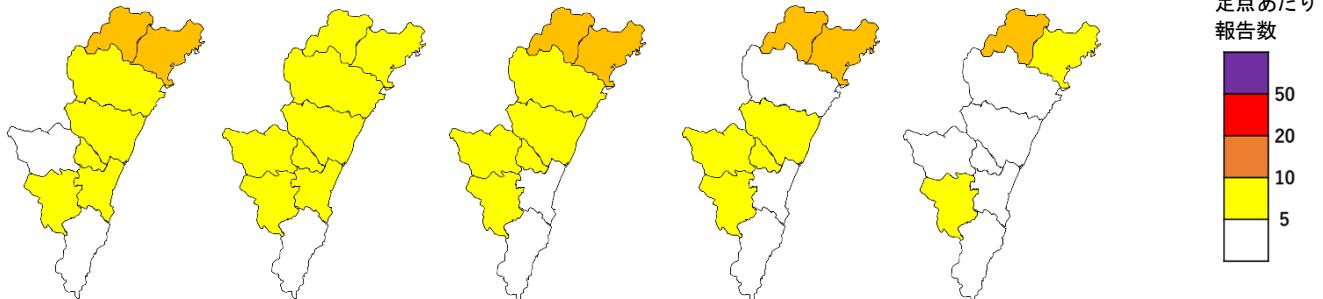


■4週(先々週) ■5週(先週) ■6週(今週)

新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2025年第2週～2025年第6週



* 県独自の基準によるもの

□ 全国第5週 新型コロナウイルス感染症発生動向

1月27日～2月2日までの1週間で29,869人(6.1)の報告があり、前週比100%と横ばいであった。長野県(8.6)、宮城県(8.4)、福島県(8.2)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満が全体の4割、60歳以上が全体の約2割を占めた。